

## 京都府域の主な寛永ゆかりの地 一覧表

|    | スポット                  | 所在地      | 詳細                                    |
|----|-----------------------|----------|---------------------------------------|
| 1  | 松花堂庭園・松花堂美術館          | 八幡市      | 寛永の三筆・松花堂昭乗ゆかりの庭園と美術館を備える文化施設。        |
| 2  | 松花堂吉兆 松花堂店            | 八幡市      | 松花堂庭園・美術館に隣接する「松花堂弁当」発祥の名店。           |
| 3  | 石清水八幡宮                | 八幡市      | 寛永11年、徳川家光により再建された国宝社殿を有する八幡宮。        |
| 4  | 一ノ鳥居                  | 八幡市      | 松花堂昭乗が書写した扁額を掲げる石清水八幡宮参道の石鳥居。         |
| 5  | 下馬碑                   | 八幡市      | 石清水八幡宮参道に立つ、松花堂昭乗筆と伝わる下馬碑。            |
| 6  | 男山山中の泉坊跡              | 八幡市      | 寛永15年、松花堂昭乗が隠棲した草庵跡で国指定史跡。            |
| 7  | 男山山中の瀧本坊跡             | 八幡市      | 松花堂昭乗と小堀遠州が茶室「閑雲軒」を造営した宿坊跡。           |
| 8  | 正法寺                   | 八幡市      | 寛永7年、お亀の方の寄進で建立。本堂内陣や狩野派襖絵が残る。        |
| 9  | 泰勝寺                   | 八幡市      | 松花堂昭乗ゆかりの寺。茶室「閑雲軒」は日本百席の一つ。           |
| 10 | 萬福寺                   | 宇治市      | 隠元隆琦禅師創建の黄檗宗大本山。徳川幕府等により寄進された伽藍が残る。   |
| 11 | 興聖寺                   | 宇治市      | 道元禅師創建の古刹。寛永期に長井尚政が再興した禅宗寺院。          |
| 12 | 朝日焼 shop & gallery    | 宇治市      | 小堀遠州ゆかりの遠州七窯の一つ、宇治の茶陶。                |
| 13 | 宇治橋                   | 宇治市      | 日本三古橋の一つ。寛永期に始まったお茶壺道中の起点。            |
| 14 | お茶と宇治のまち歴史公園<br>「茶づな」 | 宇治市      | 宇治茶の歴史と文化を発信するミュージアム兼観光拠点。            |
| 15 | 酬恩庵一休寺                | 京田辺市     | 一休禅師晩年の寺。松花堂昭乗ら合作の名勝庭園が残る。            |
| 16 | 岩船寺                   | 木津川市     | 寛永年間頃に徳川秀忠らの寄進により堂宇を修復                |
| 17 | 大智寺                   | 木津川市     | 寛文9年東福門院の下賜によって中興。本堂、表門、鐘楼などを造営       |
| 18 | 法常寺                   | 亀岡市      | 寛永18年、後水尾天皇の勅願で創建された寺院。府指定名勝の庭園を有する。  |
| 19 | 千手寺                   | 亀岡市      | 弘法大師創建の古刹。寛永15年建立の開基堂に創建当初の彩色が残る。     |
| 20 | 保津川下り                 | 亀岡市      | 角倉了以・素庵父子が整備し、寛永期の物流を支えた保津川の舟運。       |
| 21 | 宮垣神社                  | 亀岡市      | 寛永2年建立とされる神社。総ケヤキ造へつながる本殿が残る。         |
| 22 | 保津八幡宮                 | 亀岡市      | 寛永13年建立の社殿が残る。令和元年修復により創建当初の彩色が復元された。 |
| 23 | 常照皇寺                  | 京都市右京区京北 | 後水尾天皇ゆかりの桜で知られる皇室ゆかりの禅寺。              |
| 24 | 柳谷観音 楊谷寺              | 長岡京市     | 後水尾天皇の皇子の眼病を癒した独鈷水で知られるお寺。            |
| 25 | 長岡天満宮                 | 長岡京市     | 菅原道真公ゆかりの社。寛永15年築造の八条ヶ池が残る。           |

# 京都府域の主な寛永ゆかりの地①

## 1 松花堂庭園・美術館（八幡市）

石清水八幡宮の社僧で、「寛永の三筆」と称された松花堂昭乗ゆかりの庭園。寛永14（1637）年、昭乗が住職を退いた後に建てた草庵「松花堂」を含む内園がある。併設の松花堂美術館では、昭乗ゆかりの書画や資料を展示している。※内園は特別公開日のみ

☎ 075-981-0010 HP : <https://shokado-garden-art-museum.jp>



## 2 松花堂吉兆 松花堂店（八幡市）

松花堂庭園・美術館に隣接する日本料理店。創業者である湯木貞一が松花堂昭乗旧跡の茶会で見出した四角い器をもとに「松花堂弁当」を考案。花堂弁当や茶懷石を基本とした懷石料理を提供している。※ランチ・ディナーともに完全予約制

☎ 075-971-3311

HP : <https://kyoto-kitcho.com/restaurant/shokado/>



## 3 石清水八幡宮（八幡市）

貞観二年（860）創建。古くから厄除けの神として信仰され、日本三大八幡宮の一つに数えられる。国宝指定の本殿や舞殿は、寛永11（1634）年に徳川家光により再建されたもので、現在も当時の華やかな装飾を見ることができる。

☎ 075-981-3001 HP : <https://iwashimizu.or.jp>



写真提供：石清水八幡宮

## 4 一ノ鳥居（八幡市）

石清水八幡の高さ9mの石造りの鳥居。八幡宮の文字は、平安の三蹟・藤原行成の書を寛永の三筆・松花堂昭乗が書写したもので、「八」の字が神使の双鳩になっている。



## 5 下馬碑（八幡市）

相槌稻荷社の南、石清水八幡宮参道にある石碑。参詣者に馬を下りることを促すために設けられたもので、「下馬」の二文字は、瀧本坊の住職だった松花堂昭乗のものと伝えられている。



# 京都府域の主な寛永ゆかりの地②

## 6 男山山中の泉坊跡（八幡市）

石清水八幡宮が鎮座する男山にかつて存在した「男山四十八坊」の一つ。寛永14（1637）年、松花堂昭乗が隠遁のため構えた草庵松花堂や書院の跡地で、移築先の松花堂庭園とあわせて国指定史跡となっている。※史跡地

## 7 男山山中の瀧本坊跡（八幡市）

「男山四十八坊」の一坊。寛永年間、松花堂昭乗が住職を務め、小堀遠州とともに茶室「閑雲軒」を造営した地。躍り口までの廊下を露地に見立てた構成は、当時として画期的な茶室とされる。※史跡跡

## 8 正法寺（八幡市）

寛永7（1630）年にお亀の方（徳川家康公の側室）の寄進で本堂、大方丈、唐門（国重文）を建立。本堂内陣は日光東照宮の内陣を手がけた絵師による約400年前の彩色がそのまま残されており、大方丈には狩野派の襖絵が飾られる。※公開日に限る



☎075-981-0012 HP: <http://shoboji.or.jp>

## 9 泰勝寺（八幡市）

松花堂昭乗ゆかりの寺。境内には昭乗をはじめとする瀧本坊社僧の墓所や、昭乗の茶室を復元した閑雲軒があり、日本百席の一つに数えられている。毎年11月には昭乗を偲ぶ「昭乗忌」を開かれる。※公開日のみ（公開日は要お問い合わせ）



☎075-981-0056

## 10 萬福寺（宇治市）

徳川幕府や後水尾法皇の尊崇を集め、明から来日した隠元隆琦禪師が寛文元（1661）年に創建された黄檗宗の大本山。旧近衛領であった広大な境内や明朝様式の伽藍は徳川幕府等より寄進された。法皇より拝賜された舍利殿には法皇の御霊牌が奉安され「法皇忌」が行われる。令和6年末、法堂・大雄宝殿・天王殿が国宝へ指定。



☎0774-32-3900 HP: <https://obakusan.or.jp>

# 京都府域の主な寛永ゆかりの地③

## 11 興聖寺（宇治市）

道元禅師により開かれた、日本最古の禅宗修行道場。江戸時代初期には「秀忠近侍の三臣」の一人・永井尚政が淀城主として再興に尽力した。天竺堂の聖観音像をはじめ、後水尾天皇や東福門院ゆかりの寺宝が伝わる。参道「琴坂」は紅葉の名所としても知られる。

☎ 0774-21-2040 HP : <https://www.uji-koushouji.jp>



## 12 朝日焼 shop & gallery（宇治市）

朝日焼は、慶長年間（1596～1615）に、初代陶作が宇治川傍の朝日山に窯を開いたことに始まるとされる。小堀遠州が指導し、その好みの茶具を焼いたとされる七つの窯「遠州七窯」の一つに数えられるようになった。朝日焼の作品展示・販売を行うとともに、陶芸体験も行っている。

☎ 0774-23-2511 HP : <https://asahiyaki.com>



## 13 宇治橋（宇治市）

646年架橋と伝わる、日本三古橋の一つ。寛永10（1633）年に始まった「お茶壺道中」では、将軍家御用達の新茶を載せた行列が毎年この橋を起点に江戸へ向かい、約235年にわたり続けられた。現在の擬宝珠は、現存する寛永13年作のものをモデルとしている。



## 14 お茶と宇治のまち歴史公園「茶づな」

宇治茶の歴史や製法、文化的背景を分かりやすく紹介するミュージアムや茶摘み体験、茶臼を使った抹茶づくり体験などを通して、宇治茶への理解を深めることができる。宇治市内の観光情報も発信しており、まち歩きの拠点として活用されている。テラスからは宇治川の流れと周辺の景観を望むことができる。

☎ 0774-24-2700 HP : <https://uji-chazuna.kyoto>



## 京都府域の主な寛永ゆかりの地④

### 15 酬恩庵一休寺（京田辺市）

とんちで知られる一休禅師が晩年に復興させた寺。方丈庭園は江戸時代初期の禅苑枯山水庭園で、松花堂昭乗、佐川田壽六、石川丈山の合作によるもので「三作の庭」といわれる名勝である。方丈には、狩野探幽作とされる襖絵が残る。



☎ 0774-62-0193 HP : <http://www.ikkyuji.org>

### 16 岩船寺（木津川市）

天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝えられる。寛永年間頃に徳川秀忠らの寄進により堂宇を修復。平安時代の本尊阿弥陀如来坐像（重文）や寛永9（1632）年に編纂された「岩船寺縁起」などの寺宝が残る。6月は美しい紫陽花が咲く。



☎ 0774-76-3390 HP : <https://gansenji.or.jp/>

### 17 大智寺（木津川市）

寛文9（1669）年、東福門院の下賜によって本寂が中興、橋柱山大智寺と改号。本尊の文殊菩薩坐像と十一面観音菩薩立像は重要文化財。文殊菩薩坐像は奈良時代に行基が架けた泉大橋が流され、残っていた橋柱から鎌倉時代に刻みだしたものと伝わる。



☎ 0774-72-2500 HP : <https://www.daichji.com/>

### 18 法常寺（亀岡市）

臨済宗妙心寺派の寺院。寛永18（1641）年、後水尾天皇の勅願により仏頂国師（一絲文守）のために創建された。後水尾天皇や東福門院ゆかりの寺宝が残り、境内には京都府指定名勝の庭園がある。紅葉の名所として知られる。※堂内の拝観は要予約。



☎ 0771-28-2243 HP : <https://sites.google.com/view/houjouji>



# 京都府域の主な寛永ゆかりの地⑤

## 19 千手寺（亀岡市）

大同2（807）年、弘法大師により創建された寺院。寛永15年に開基堂が建造された。近年の本格修理により、堂内の内陣柱や格天井には創建当時の彩色を見ることができる。標高の高い山上に位置し、霧や雲海が発生することがある。



☎0771-23-1434 HP：<https://tokonagesan.kyoto.jp>

## 20 保津川下り（亀岡市）

角倉了以・素庵父子により整備され、寛永期の物流と文化を支えた保津川を約2時間で下る川下り。四季折々の景色と急流のスリルを満喫できる。素庵は俵屋宗達と交流し、琳派文化を育んだ人物として知られる。



☎0771-22-5846 HP：<https://www.hozugawakudari.jp/>

## 21 宮垣神社（亀岡市）

寛永2（1625）年に建立されたとされる。本殿はケヤキを化粧材に使うなど、のちの総ケヤキ造へとつながる地方大工の建築技法の発展を考える上で重要な建物である。



## 22 保津八幡宮（亀岡市）

本殿は寛永13（1636）年に建立。令和元年の修復により、柱や虹梁、木鼻に創建当初の丹色（朱色）や緑青・群青などの彩色が復元された。境内のクスノキは亀岡市の名木。



## 23 常照皇寺（京都市右京区京北）

臨済宗天龍寺派の禅寺。貞治元（1362）年に光厳天皇が開山し、歴代天皇の帰依を得た皇室ゆかりの寺院。一重と八重が一枝に咲く「御車返しの桜」は、後水尾天皇が、この桜の美しさに車を引き返して見事に咲く花を眺めたことから名付けられた。



提供：[京都の桜写真](#)

## 京都府域の主な寛永ゆかりの地⑥

### 24 柳谷観音 楊谷寺（長岡京市）

西山浄土宗光明寺の末寺で、古くから観音信仰を集めてきた寺院。弘法大師ゆかりと伝わる霊水「独鈷水（おこうずい）」は眼病に効くとされ、毎月17日の縁日には多くの参拝者でにぎわう。後水尾天皇の皇子の第112代霊元天皇が眼病を癒やされたことを契機に、明治期に至るまで天皇家へ独鈷水が献上されていた。境内には約4,500本のアジサイが植えられ、花の名所としても知られる。花手水発祥の地。

☎ 075-956-0017 HP : <https://www.yanagidani.jp/>



### 25 長岡天満宮（長岡京市）

菅原道真公が大宰府に左遷された際、名残りを惜しんで送った木造を御神体として祀ったのがはじまりとされる。境内には広大な八条ヶ池が広がり、春になるとキリシマツツジの回廊が現れ、京都随一の景観として知られている。八条ヶ池は寛永15（1638）年、桂離宮を造営した八条宮智忠親王によって築造され、当時の庭園文化の影響を今に伝えている。

☎ 075-951-1025 HP : <https://nagaokatenmangu.or.jp/>

